

2014年4月1日

2014年度入社式 社長挨拶について

第一生命保険株式会社(社長 渡邊 光一郎)は、2014年4月1日(火)に入社式を行いました。
社長挨拶の主旨について、別紙の通りお知らせ致します。

2014年度新入職員
グローバル職 91名
エリア職 67名
総合営業職 414名
機関経営職 45名
計 617名

「異次元への挑戦」～グループを挙げた更なる飛躍に向けて～

新入職員の皆さん、ご入社おめでとうございます。皆さんを心から歓迎します。

本日より、中期経営計画「Action D」の2年目がスタートします。また、1年後の2015年4月には、当社が株式会社化・上場をした新創業から5周年という節目を迎えます。今年度は、その新創業5周年を具体的な成果で示すためにも「異次元への挑戦」を目指す、非常に重要な1年です。

足元では、アベノミクスの名の下に「異次元の金融緩和」、「財政出動」などの政策が功を奏し、経済指標は好転の流れに潮目を変えつつあります。こうした経済の上向きの流れが長期に定着するかどうかは、成長戦略のこれからの実行にかかってきているという状況にあります。

では、成長戦略の担い手は誰か、それは紛れもなく私たち企業ということになります。具体的な成果を挙げていく責任・バトンは企業側にあるということです。

しかし、失われた20年を経て、成長軌道に回帰することは、過去からの連続的な取り組みを継続しているだけでは、到底到達できません。まさに、非連続な取り組み、言い換えればこれまでとは次元の異なる「異次元への挑戦」なくては達成し得ないと思います。

「異次元への挑戦」とは、私たちの経営スタイルである「DSR経営」の取り組みをグループの全組織が本気で実践することにあります。そのことが、第一生命グループならではの独自性の発揮につながり、差異化による成長につながるものと確信しています。

第一生命の伝統は創業者の変革によって生まれ、その後も時代を担う第一生命人の変革によって継承されてきました。この歴史を創ってきたのが「人財」です。皆さんには第一生命の次の時代の物語を創る「人財」になってほしいと思います。当社には、新たな価値の創造に向けて、一人ひとりのプロフェッショナルを活かし、チームワーク力を発揮していくという考え方、「ダイバーシティ&インクルージョン」があります。皆さんが、最初の所属の業務に一刻も早く精通してプロフェッショナルの「縦糸」を通し、「横糸」であるチームワーク力を発揮して、自分ひとりでやるよりも大きな仕事を成し遂げる力をつけてください。さらには、個性の発揮と創意工夫という「自らの糸」も結びつけていただきたいと思います。

皆さんの今後のご活躍に大きな期待をしています。

※1 DSR(Dai-ichi's Social Responsibility)経営とは、全社でPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを回して経営品質向上に努め、ステークホルダー(利害関係者)の皆さまへ価値を提供する、第一生命独自の価値創造経営です。

※2 ダイバーシティ&インクルージョンとは、女性の活躍など「多様性(ダイバーシティ)」をお互いに「インクルージョン(受容)」することで、新たな価値を創造する、第一生命独自の考え方です。

以上